



むさしだい

学校だより 6月号
令和6年5月31日
中野区立武蔵台小学校
校長 若菜 康史

植物から学ぶものの見方

校長 若菜 康史

先日の学校公開で、1年生が「アサガオ」の種まきをしました。今までに大人のみなさんも育てたことはあるでしょうか？もしかしたらやっていない地域もあるかもしれませんが（北海道では少し育てにくい地域もあるようです）今回はアサガオを話題に取り上げてみます。

アサガオはヒルガオ科サツマイモ属の植物です。（ちなみにサツマイモの花はアサガオの花にそっくりです。調べてみてください。）日本で最も発達した園芸植物だそうです。日本には奈良時代から平安時代にかけて中国から持ち込まれたのが通説なようです。日本で大ブームになったのは江戸時代で、数多くの品種のほとんどはこの時代に作られたそうです。有名な行事は朝顔市などですね。



昔は理科で、1989年に生活科が新設された後は生活科で授業に取り入れられるようになりました。それでは、なぜ学習で取り入れられるようになった

のでしょうか。

さて、学習指導要領（児童のみなさんが小学校で学ぶべきことが沢山書いてあるものです）にはそれぞれの教科の見方、考え方が書かれています。その学習指導要領の解説の中にもアサガオの利用について書かれています。絶対にアサガオを使うべしとは書かれてはませんが様々な場面に名前が登場します。つまり、アサガオは様々な場面で素材として活用に適しているということです。

みなさんは、アサガオを使って、どんなことをしたことがありますか？花は押し花、色水遊び、つるはリースにします。これは工作的要素を満たしますね。それから、「種」「ふた葉」「本葉」「つる」「つぼみ」「花」「実」というように成長過程で変化がはっきり

としており、植物の成長という変化をつかみやすい。これは理科的要素を満たしています。育てていくうちにつるの長さの変化がはっきりと分かり、花や種がつきやすいので成長の喜びを感じられることは生活科の学習の要素になります。アサガオは、そういったこと一つ一つの変化に目がとまりやすく、その一つ一つに考えを促すことに引き留めやすい植物なのです。ですから、学習で見る力を育てる学校にとって、アサガオの栽培は適しているので、脈々と引き継がれているわけです。

アサガオのように学校では多少育てるものは違うことはあっても、植物を通して学びを深めているものはたくさんあります。国語科ではタンポポを扱うものが説明文の教材に上がっていましたし、社会科ではもちろん農作物の学習があります。特に稲作については武蔵台小学校でも2畳ほどの田んぼで毎年米作りをしています。魚沼から給食のお米の納入をしてくださる業者の方に年に2回ほど来ていただき、いろいろ教えていただいています。



生活科では、サツマイモ、ピーマン、ミニトマトなど。理科ではホウセンカ、ひまわりヘチマ（最近ではゴーヤを取り上げて

いるところ多いです）オクラ、インゲン豆、ジャガイモなど多くの植物とともに学習が進んでいます。

学校では多くのことを見て考えて学習を深めていきますが、日常生活など学校の外に出たときにも、ちょっとこれはどういうことなんだろう？どうしてこうなったの？と見て、考えてほしいと思います。

5月末から5年生の軽井沢移動教室、7月には6年生の日光移動教室があります。学校の外に出て過ごす生活にも大なり小なりの発見があったと思いますし、そのほかの学年でもこれから実施される校外学習で、日頃から気付くことから始まる見方、考え方を身に付けさせていきます。

【1・2年生 消防写生会の様子】

5月8日、青空の下ではたらく消防の写生会が行われました。「はしご車は大きいね。」「消防士さん、カッコいいね。」など、間近で見る消防車や消防士さんに、子どもたちは目を輝かせていました。

1年生は初めての消防写生会です。自分で描きたい車と場所を決め、大きな画用紙いっぱい描きました。迫力のある絵に仕上がるよう、色塗りも丁寧に頑張りました。2年生にとっては二度目の消防写生会。集中してクレパスを動かし、細かなところまで丁寧に色を塗りました。最後は、教室で絵の具を使って仕上げ、力強い消防車の絵を描き上げました。

みんな一所懸命に描き、一人ひとりとてもすてきな消防車を完成させることができました。作品は、各学級の廊下に展示してありますので、ぜひご覧ください。



【3・4年生 遠足の様子】

5月10日(金)、晴天に恵まれる中、3・4年生合同で日和田山に遠足に行きました。電車での移動で、途中何回か乗り換えがありましたが、子どもたちは周りの様子を見ながら、遅れずに移動することができました。

日和田山では、3年生と4年生のたてわり班で登山を行いました。多くの登山者が訪れていましたが、気持ちよく挨拶をしたり、道の端を歩いたり、マナーを守って行動することができました。「大丈夫?」「少し休もうか。」など、3年生の様子を見て励ましてくれたり、優しく気遣ってくれる4年生。そのような姿から3年生は、多くの学びがあったことと思います。

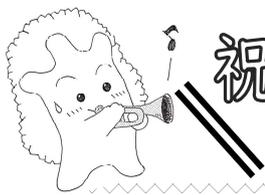
一人ひとりがめあてを意識して臨むことができた遠足でした。電車内での声の大きさなど、課題はありましたが、今回の遠足で学んだことや反省をこれからの学校生活に生かしてほしいと思います。



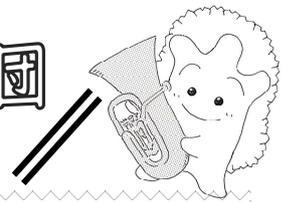
家庭学習強化活動 ご協力ありがとうございました。

5月1日(水)から5月31日(金)までの間、家庭学習強化活動を行いました。保護者の皆様には、家庭学習がんばりカードやご家庭での声掛けなどでご協力いただきありがとうございました。

家庭学習は、家庭での学習習慣を身に付けさせること、自発的な学習意欲を引き出すこと、基礎学力を身に付けさせることがねらいです。小学校のうちに机に向かって集中して学習する習慣を身に付けることが、将来に大きく役立ちます。家庭学習強化活動が終わった後も学習習慣が継続するよう、引き続きご家庭のご協力をお願いします。



祝 50 周年・武蔵台小学校吹奏楽団



こんにちは！武蔵台小学校吹奏楽団です！現在6年生7名、5年生19名、4年生8名の計34名で活動しています。今年度で私たち吹奏楽団は50周年を迎えることができました。50周年を迎えられたのは、地域の皆さんや保護者、学校の児童の皆さんの応援のおかげです。ありがとうございました。現在は、6月に行うデビュー&ソロコンサート、そして8月に行われる東京都小学校吹奏楽コンクールに向けて、日々練習に励んでいます。アンサンブルコンテストやコンクールの練習では、団員全員が心を一つに目標に向かって頑張っています。

また、新入団員募集中です。音楽のことをあまり知らなくても大丈夫。少しでも興味がある人は私たちと一緒に音を奏でてみませんか？音楽室で待っています。そして、これからもたくさんのコンサートを行っていくので、ぜひ聴きにきてください。応援よろしくおねがいします。
(団長・中村伊優 副団長・野村笑花)

武蔵台小学校吹奏楽団は、昭和49年(1974年)7月に創立されました。今年度は、創立50周年という大きな節目を迎え、地域の皆さんに愛されている吹奏楽団です。

昨年度も東京都小学校吹奏楽コンクールで、ゴールド金賞をいただき都大会代表に選ばれ、都大会では銀賞をいただきました。東京都小学校アンサンブルコンテストには2チームが出場し、木管7重奏が銀賞、金打8重奏がゴールド金賞をいただきました。金打8重奏チームは、吹奏楽団としては4年振りの都大会代表に選ばれ、都大会では銀賞をいただきました。

また、2年前より復活した「かみさぎ祭り」や「ウィンターコンサート」など地域のイベントや、保育園児や幼稚園児をお招きしての「なかよしコンサート」、そして3月には定期演奏会を開催することができました。どのイベントも沢山の皆様にお越しいただき、地域に根ざした楽団であることを再認識できました。その他、7月には「さよなら中野サンプラザ感謝祭」、年明け2月には「東京都小学校管楽器演奏会」への出演もありました。

このように多くの演奏の機会をいただいたおかげで、今年度の団員は34名に増えました。音楽室は毎日活気に溢れ、にぎやかに活動しています。なお、新入団員は随時募集しています。学年の垣根を越えて、沢山の仲間と一緒に音楽をやってみたい4年生以上の児童は、誰でも入団することができますので、担当や団員に気軽に声を掛けていただきたいと思います。習い事や塾などで忙しい団員も多いですが、両立できるように頑張っています。

今後も、皆さんに吹奏楽団の演奏を楽しんでいただけるよう、練習に励んでいきます。益々の応援をよろしくお願ひします。

小中合同引き渡し訓練について

4月26日(金)、北中野中学校と上鷺宮小学校と3校合同の引き渡し訓練を行いました。お忙しい中、ご協力いただきまして、ありがとうございました。

中野区立学校は、震度5以上の地震が発生した場合、原則として保護者の方に児童を引き渡すことになっています。ここ数年間、9月1日の防災の日に合わせて引き渡し訓練を実施してはいたしましたが、いつ起こるか分からない災害時にも対応できるようになるために、4月中に引き渡し訓練を行いました。今後も、避難訓練の想定や実施方法を工夫することで、万が一の事態に対応できる力を高めていきます。

ご家庭におかれましても、今回の訓練をきっかけに、非常時のための点検を行ったり、緊急時の家族の対応について話し合ったりする機会になったと思います。家庭・地域・学校で協力し、防災意識を高めていきましょう。

